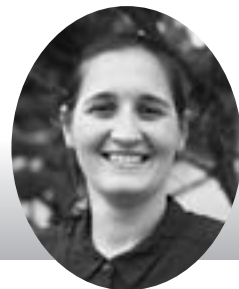


No.58 A WORD FROM ANOTHER WORLD



The Calgary Stampede Catrina Cairra

Every year millions of people gather in Calgary for 10 days in July to celebrate Canada's cowboy history at the "Greatest Outdoor Show on Earth". During this time some people dress in old fashion clothing and there are cowboy hats everywhere. There are parades, rides, games, concerts, stage shows and the main event, the rodeo. The Calgary stampede has the largest rodeo in the world and offers two million dollars in prizes so the best rides and horses can be seen here. The stampede starts with a big parade, with floats and costumed riders and marching bands. There is also a community pancake breakfast. This breakfast tradition started in 1923 when a chuckwagon (a horse drawn wagon settlers used to carry food and equipment) driver asked passersby to join him for breakfast. But the heart of the stampede is still the rodeo, with horse and chuckwagon races, and its bucking broncos. The final weekend of the stampede is when all the finalists compete and is the most exciting part of the event. People often buy their tickets for the next year only days after the event ends to make sure they get the best seats.

【ちょっと豆知識】宮地晶子

pancakeという言葉が出てきました。英語ではホットケーキとはあまり言わないですね。フライパン(frying pan)で焼くからパンケーキ。開拓時代はトウモロコシを粉にして水で溶いて、豚などの脂で焼いたらいいです。日本ではパンケーキと言えば、おしゃれな食べ物としてブームです。かなりイメージ違いますよね。

カルガリー・スタンピード カトリーナ・カイラ

毎年カルガリーには7月の10日間、非常に多くの人が集まります。カルガリー・スタンピードはカナダのカウボーイの歴史を祝う「地上最高のアウトドアショー」です。この期間、懐かしい衣装を着る人あり、カウボーイハットも至る所で見られます。パレード、アトラクション、ゲームにコンサート、ステージショーとありますが、なんといってもメインイベントはロデオ。

カルガリー・スタンピードのロデオといえば世界最大、賞金も200万ドルと大きく、最高の競技と馬が見られます。スタンピードの開始を告げるのは、衣装を着た人々と山車とマーチングバンドの一大パレードです。

地域のパンケーキ朝食サービスもあります。こちらの伝統の始まりは1923年。チャックワゴン(開拓者が食べ物や道具を運ぶのに使った荷馬車)を操る人が通行人を朝ご飯に誘ったのが始まりです。でもスタンピードの神髄といたら、やっぱりロデオ。馬とチャックワゴンのレース、乗りこなすのも難しい荒馬です。最後の週末は、決勝戦出場者が競い合う一番わくわくするイベントです。しばしば来場者は、いい席を確保するために、終わってすぐ翌年のチケットを購入します。(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第131回

リスニング力をつける

Eテレ(NHK教育テレビ放送)の「地球ドラマチック」(毎週土曜午後7時放送)という番組は、世界各国の優れたドキュメンタリーです。内容は宇宙、動植物、恐竜など、本当におもしろい。これを音声切り替えて2カ国語放送の英語にすると、うちの夫は瞬時に眠りに落ちてしまいます。いわく「単語が分からない」。ああ、授業中に眠たくなる生徒の気持ちが分かりました。言葉が分からないって、つまらないことなのです。

先日、これもEテレの「ティーンスパイK C」(毎週水

曜午後7時放送)の英語聴取を生徒に薦めたところ、翌日「先生、途中からくじけて日本語にしました」。こちらはアメリカの普通の高校生が突然スパイになるというコメディ番組。おもしろいけど、高校生同士の内輪のスーパー早口。考えてみたら日本のJK(女子高校生)の会話だって、聞き取るのは「チョー難しい」。この生徒には正統派語学番組「基礎英語」を勧め直しました。

リスニングが苦手といっても理由はさまざまです。学校のテストでリスニングができない場合は、実は聞き取りが問題なのではありません。往々にして文法力不足です。まずは目で見て理解できる力をつけましょう。

ある日、生徒が真面目な顔をして「先生、ラジオってどこからお金を払うのですか」と聞いてきました。コインを握りしめて投入口を探したのかも…。ラジオって馴染めない? そんな人にはNHKインターネット・サイト「らじるらじる」がお勧め。登録すれば、スマホ、PC、タブレットで1週間分の語学番組をいつでも無料で聞けます。